

令和7年(2025年)度行政評価シート【個表】

令和7年6月20日

評価対象事業		評価者	市民健康課長 石黒知美	
健福-49	成人健康診査事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	市民健康課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	保険年金課・生活福祉課
総合計画上の位置付け	分野	4-(1) 健康福祉	施策の方針	4-(1)-②健康長寿社会の構築

1 事業の目的

対象	健診対象年齢に達した市民
意図	生活習慣病の予防と重症化の防止、結核の早期発見・治療のため。
効果	市民1人ひとりが自分の健康状態に留意し、健康を害する生活習慣を改善し、医療費の抑制につなげる。結核を予防し、まん延を防ぐ。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

- ・40歳の方に無料で肝炎検診を実施した。(無料クーポン券検診)
- ・40歳以上で今まで鎌倉市の肝炎検診を受診していない希望者(無料クーポン券検診に該当しない方)に肝炎検診を実施した。
- ・20歳～36歳の方に4歳刻みで、40歳～70歳の方に10歳刻みで歯周病検診を実施した。(問診、口腔内検査)
- ・後期高齢者医療保険の被保険者に後期高齢者健診、40歳以上の生活保護受給者に生保受給者健診を実施した。
- ・若年期からの生活習慣病予防のため、20歳～39歳の方に検査キットによる健診を実施した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	指標(目標値)	指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	肝炎検診事業	40歳以上に実施 (1,200円) 40歳には無料検診実施	受診率(%)	9.9% / 15%	15%	15%	66%
				1,775 / 2,322	2,297		
02	歯周病検診事業	20・24・28・32・36歳及び 40・50・60・70歳に実施 (500円)	受診率(%) (20・24・28・32・36歳)	2.3% / 5%	5%	5%	46%
				896 / 1,390	4,760		
03	後期高齢者健診事業	75歳以上の後期高齢者に 特定健診項目及びフレイル 予防や認知機能のスクリーニング を実施(自己負担なし)	受診率(%)	34.0% / 33%	33%	33%	103%
				136,475 / 146,343	141,996		
04	生活保護受給者健診事業	生活保護受給者に特定健診 項目を実施(自己負担なし)	—	— / —	—	—	
				1,921 / 1,723	1,967		
05	キット健診事業	40歳未満に実施 (1,000円)	—	— / —	—	—	
				822 / 2,048	1,780		
06	一般事務経費	消耗品の購入、各健診票の 印刷製本	—	— / —	—	—	
				459 / 571	629		
07		上記()内の金額はすべて 自己負担金		/			
08				/			
09				/			
10				/			
			国県支出金	3,515 / 4,615	6,233		
			地方債	/			
			その他特定財源	118,345 / 120,958	116,102		
			一般財源	20,488 / 28,824	31,094		
			事業費の合計(千円)	142,348 / 154,397	153,429		
			人件費(千円)		11,865	12,479	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.4	0.5	2.0	1.0	1.3	1.3
会計年度任用職員	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	肝炎検診事業	コロナ禍による受診率の増減が落ち着いたことが影響してか、受診率は減少した。	健康長寿社会の構築には、健康の維持・増進することが必要である。そのために健診・検診事業を行うことは妥当である。	いかに関心を持ってもらうか、情報提供の方法を工夫していくことが必要である。
02	歯周病検診事業	他の健診と異なり毎年行う検診ではないことや、別の医療機関に行く必要があることなどから、目標値を達成できていない状況が続いている。	健康長寿社会の構築には、健康の維持・増進が必要である。そのために健診・検診事業を行うことは妥当である。	若年からの歯周病検診の重要性を周知していく。検診機関において日常の正しい口腔ケアなどを分かりやすく提供していく。
03	後期高齢者健診事業	受診率は横ばいで推移している。	健康長寿社会の構築には、健康の維持・増進することが必要である。そのために健診・検診事業を行うことは妥当である。	認知機能やフレイル予防など、今までの健診とは違う内容があることを分かりやすく伝えていく。結果を対面で伝え、家族も含めて共有し、継続指導が必要な場合には包括支援センターなどしかるべき機関につなげていく必要がある。
04	生活保護受給者健診事業	対象者が限られており、指標設定にはなじまない。	健康長寿社会の構築には、健康の維持・増進することが必要である。そのために健診・検診事業を行うことは妥当である。	健診結果を対面で医師から聞くこと、合わせて担当ワーカーとも共有し、継続した健康管理ができるようにする必要がある。
05	キット健診事業	健康状態を見える化することで、健康意識の醸成や受診につなげるのが目的であることから、指標設定にはなじまない。	健康長寿社会の構築には、若年層からの健康づくりに関する意識の醸成が必要である。そのために健診・検診事業を行うことは妥当である。	いかに関心を持ってもらうか、情報提供の方法を工夫していく必要がある。
06	一般事務経費	消耗品等事務経費であり、指標設定して評価することは、事業の性質に馴染まないため、設定しない。	成人健康診査事業を適法に実施するための事業を行っており、妥当。	-
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-協働未実施 △-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 拡充 改善・変更 現状維持 縮小 休止・廃止
 「鎌倉市健康づくり計画」の目標である、市民の健康寿命の延伸、生活習慣病の重症化予防、早期発見・早期治療を推進するため、引き続き、健診の受診機会を提供していく。
 歯周病検診の受診率向上のため、20歳・30歳の自己負担金を免除する。また、40歳以上の対象者には未受診者勧奨を実施する。
 受診率向上のための創意工夫が引き続きの課題である。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	肝炎検診の受診率(40歳無料クーポン券検診)						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
ウイルス性肝炎罹患の早期発見を目指すため	目標値		15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	
	実績値	10.2	11.9	15.1	9.2	9.9		
	達成率		79.3%	100.7%	61.3%	66.0%		

指標(単位)	歯周病検診の受診率(20・24・28・32・36歳)						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
歯周病罹患率の低下を目指すため	目標値		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
	実績値	2.0	2.1	1.6	1.9	2.3		
	達成率		42.0%	32.0%	38.0%	46.0%		

指標(単位)	後期高齢者健診の受診率						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
後期高齢者の健康維持のため	目標値		33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	
	実績値	31.4	33.6	34.5	33.5	34.0		
	達成率		101.8%	104.5%	101.5%	103.0%		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	若年層(40歳未満)を対象とした健診・検診事業の実施自治体						
団体名	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	綾瀬市	大和市	
他市実績	スマホdeドック・歯周病・子宮・(乳房健康指導)	子宮・乳視触診検査・歯周病	3039健診・歯科健診歯ぐきの健診・結核・子宮	子宮・乳骨粗しょう症	子宮・乳(エコー)・結核	結核・子宮・女性健診	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方
 生活習慣病の予防は若年層(20代・30代)から必要であるため、自治体は一人でも多くの住民が健診・検診を受けられるよう受診機会を提供する必要がある。近隣他市と比べて若年層への健診項目は比較的充実しているが、受診率の低さが課題であり、スマホdeドック、歯周病検診、(子宮頸がん検診)の受診率を上げるための取組を引き続き行っていく。